

# 2018 防災ススム! 「忍者列車で行く上野遊水地巡り」開催!

## スタンプラリーで上野遊水地の役割を理解促進

H30.11.18

木津川上流河川事務所

### 【開催概要】

日時: 平成30年11月18日(日)  
 参加人数: 大人58名/子ども34名 計92名  
 主催: 木津川上流河川事務所  
 協力: 伊賀鉄道株式会社  
 メナード青山リゾート

■伊賀鉄道のご協力のもと忍者列車に乗って集合場所(上野市駅)から上野遊水地(新居駅)まで移動し、スタンプラリーを実施しました。

■今年は昨年度の要望を受け、さらに越流堤や排水門などより多くの施設を見て、歩き、遊水地の仕組みが分かるようなコースを追加することで、参加者の皆さんに楽しんで頂きました。

■また、約半世紀をかけて運用を開始した上野遊水地の歴史をパネル等で紹介し、普段入れない「小田排水機場」や「集中管理センター」等の施設を公開することで、防災への意識も高めて頂きました。

160ha、760戸の浸水を防ぐ  
上野遊水地とは、木質、小田、新居の4つの総称です。



上野遊水地は平成27年(2015)6月に運用を開始しました。平成29年(2017)10月22~23日の台風21号で、はじめて4つの遊水地で洪水(山からあふれた水)約600万立方メートルを貯留しました。洪水を貯留したことによって上野地区160ha、約760戸の浸水を防ぎました(推計)。



参加者へは、越流前(上図)とH29台風21号による越流後(下図)の比較写真にて遊水地の治水効果を説明

### 【遊水地巡り 順序】



ショートコース 2.5km  
 ロングコース 4.5km

●: ラリーポイント

- 1 上野市駅(集合場所)
- 2 新居駅
- 3 ヤギ除草
- 4 災害対策車展示
- 5 小田排水機場
- 6 ドローン操作体験
- 7 小田陸閘
- 8 集中管理センター



### ～参加者のご意見・ご感想～

「遊水地という言葉は知っていたけど、実際に見て回ってよくわかりました。参加して、良かったです。」(30歳代女性)  
 「地形を見て歩いて、遊水地がよくわかった。とても広いのでおどろきました。スタンプ台紙の洪水の時の写真と見比べられるので、とてもわかりやすかったです。」(30歳代男性)  
 「越流堤の仕組み全体を教えてもらって、よくわかりました。国交省の仕事を知らなかったけれど、少しわかりました」(70歳代女性)  
 「堤防をチェックするのに雑草があるときちゃんと観察できないから、ヤギで除草していることがわかりました。」(10歳代男子)  
 「国交省が川の管理をしてくれることがわかりました。」(10歳代男子)

